

## 二度目のバラナシ

はじめてインドに来たとき、たましいを奪われた  
世界中のどこを訪れたときも、インドのことを思い出していた  
花の舟に火をともし、ガンジスにながす  
青春の火は消えたけど、いのちの火は消えない

## プージャーの火

船頭の少女のまなざし  
沐浴する人々の祈り  
道をふさぐ牛たちと寝そべる子犬  
揺らめくプージャーの火  
この世はたましいの祝祭